



平成23年9月12日

各 位

会 社 名 スズキ株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木 修
 (コード：7269、東証第1部)
問合せ先 広報部長 山村 茂之
 (053) 440-2030

フォルクスワーゲン AG との提携関係に関するお知らせ

当社は、平成21年12月9日にフォルクスワーゲン AG との間で包括契約を締結しましたが、2年弱の期間の協議を経て、本日、下記の理由によりフォルクスワーゲン AG との業務提携及び相互資本関係を解消することを取締役会で正式に決定したことをお知らせいたします。

1. 業務提携及び相互資本関係の解消の理由

当社は、フォルクスワーゲン AG の申し入れを受けて、互いに独立したイコールパートナーとして提携するために包括契約を締結しました。当社としての提携の最大の目的は、世界の自動車市場において技術開発競争が激化しているため、当社の環境技術などの開発を加速するよう技術情報の提供などの技術支援をフォルクスワーゲン AG から受けることにありました。こうした協力関係を確実にするため、株式の相互保有について両社で合意しました。

しかしながら、当社の議決権総数の19.89%というマイナーな出資比率では、フォルクスワーゲン AG が100%近い議決権を有するフォルクスワーゲン・グループ会社と同等又はそれ以上の技術的支援をフォルクスワーゲン AG から受けることが困難であるということを当社として判断せざるを得ない状況となりました。当社は、本年はじめからは、環境技術等も開発を加速させているところです。

当社としては、国内の軽自動車市場やインドをはじめとするアジア市場において競争力を維持していくためには、経営判断における『自主独立』は不可欠なものと考えていますが、フォルクスワーゲン AG は、当社を『財務的、経営方針上、重大な影響を与えることができる』会社として公表しています。

総合的に考えて、業務提携をした当社の目的の達成が困難な状況であること及びスズキの自主的な経営判断にマイナスの影響を与えられることが懸念されることから、フォルクスワーゲン AG との業務提携及び相互資本関係を解消することを取締役会で正式に決定しました。

2. 相互資本関係の解消について

フォルクスワーゲン AG が保有する当社の株式は、業務提携の目的を実現する観点から、フォルクスワーゲン AG の求めに応じ、当社がフォルクスワーゲン AG に対して第三者割当により当社株式を割り当てたものです。業務提携を解消する以上、当社の株式を提供した目的が失われることから、当社の意向に沿って株式を処分するようフォルクスワーゲン AG に対して求めます。

なお、当社が保有するフォルクスワーゲン AG の株式についても、当社の意向にそってフォルクスワーゲン AG が当社の株式を処分する場合は、当社もフォルクスワーゲン AG の意向に沿ってフォルクスワーゲン AG の株式を処分します。

当社は、資本関係のない内外の自動車会社と友好に協力を進めています。フォルクスワーゲン AG との資本関係を解消し、『真のビジネスパートナー』の関係となれば、フォルクスワーゲン AG とも同様に互いに利益のある分野において友好に協力を進められる環境が整備されるものと考えています。

3. 今後の見通し

今後、フォルクスワーゲン AG との間で業務提携及び相互資本関係の解消について協議が持たれることとなります。解消時期なども含めて最終的な結論に至った段階で、速やかに公表いたします。

以 上